

「クラミジア・淋菌(SDA)用容器(ぬぐい液用)」 供給一時中断による検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目の容器製造販売元である日本ベクトン・ディッキンソン社から、ぬぐい液用の現行容器が世界的な供給不足により供給が中断する旨の連絡を受けました。容器の供給再開までにはかなりの時間を要するとのことであり、弊社対応といたしまして、下記対象項目をロシュ・ダイアグノスティックス社製の試薬を用いたリアルタイム PCR 法に変更させていただきます。

先生方にはご迷惑をお掛けすると存じますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目

頁	項目コード	検査項目名	備考
87 175	9058	クラミジア・トラコマチス核酸増幅同定 SDA 法	容器供給中断のため、代替項目のリアルタイム PCR 法に変更いたします。
	9057	淋菌核酸増幅同定 SDA 法	
	9056	淋菌/クラミジア・トラコマチス同時核酸増幅同定 SDA 法	

■代替項目

項目コード	検査項目名	検査方法
3892	クラミジア・トラコマチス同定 DNA《TaqManPCR 法》(初尿、ぬぐい液)	ロシュ/ リアルタイム PCR 法
8723	クラミジア同定 DNA(うがい液)《TaqManPCR 法》	
3893	淋菌同定 DNA《TaqManPCR 法》(初尿、ぬぐい液)	
8724	淋菌同定(うがい液)《TaqManPCR 法》	
4994	淋菌/クラミジア同時検出《TaqManPCR 法》	
3851	クラミジア/淋菌同時検出(うがい液)《TaqManPCR 法》	

※採取容器が変更となりますので、裏面をご参照ください。

※代替項目のご依頼は「常用依頼書」をご使用ください。検査結果は「特殊報告書」にてご報告いたします。

■変更期日

- 本案内以降、順次変更させていただきます。

※従来の SDA 法は 2020 年 12 月 28 日(月)をもちまして検査受託を中止させていただきます。

■代替項目/検査要項


項目コード	検査項目名	検体材料 採取量	容器 形態	保存 方法	基準値	検査方法	実施料 (判断料)	所要 日数
3892	クラミジア・トラコーマチス同定 DNA《TaqManPCR法》	初尿 4.5mL または ぬぐい液	86 85	冷蔵	検出せず	ロシユ/ リアルタイム PCR法	198 (微生物)	3~5
8723	クラミジア同定 DNA(うがい液) 《TaqManPCR法》	うがい液 4.5mL	86					
3893	淋菌同定 DNA 《TaqManPCR法》	初尿 4.5mL または ぬぐい液	86 85	冷蔵	検出せず	ロシユ/ リアルタイム PCR法	204 (微生物)	3~5
8724	淋菌同定 DNA(うがい液) 《TaqManPCR法》	うがい液 4.5mL	86					
4994	淋菌/クラミジア同時検出 《TaqManPCR法》	初尿 4.5mL または ぬぐい液	86 85	冷蔵	検出せず	ロシユ/ リアルタイム PCR法	278 (微生物)	3~5
3851	クラミジア/淋菌同時検出(うが い液)《TaqMan》	うがい液 4.5mL	86					

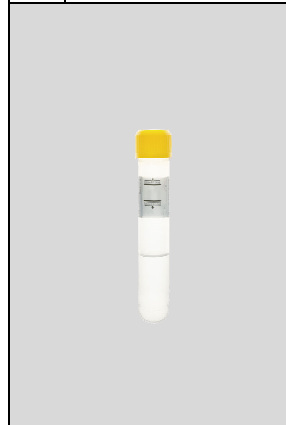
※SDA 法ご利用時に『咽頭ぬぐい液』を検査材料としてご利用されていた場合、代替検査においては『うがい液』を選択ください。
 ※代替項目のご依頼は「常用依頼書」をご使用ください。検査結果は「特殊報告書」にてご報告いたします。

■代替項目の容器情報

当該検査をご出検の際は、必ず指定容器でご提出ください。検体採取方法につきましては、別掲をご参照ください。

専用容器は、弊社担当員にお申し付けください。

85	クラミジア・淋菌(TaqManPCR)用(ぬぐい液用)	
	採取量	—
	添加剤	塩酸グアニジン
	保存方法 有効期間	室温 容器表示
	主な検査項目	クラミジア-DNA 淋菌-DNA 《TaqManPCR法》

86	クラミジア・淋菌(TaqManPCR)用(尿・うがい液用)	
	採取量	4.5 mL
	添加剤	塩酸グアニジン
	保存方法 有効期間	室温 容器表示
	主な検査項目	クラミジア-DNA 淋菌-DNA 《TaqManPCR法》

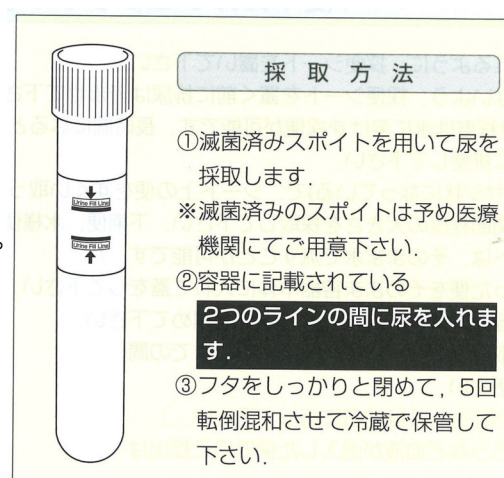
【クラミジア・トラコーマチス/淋菌同定の検体採取方法および処置方法】

1)ぬぐい液(子宮頸管からの擦過細胞)

- ①必ず、TaqManPCR法の専用検体(容器形態:85)をご使用ください。
- ②粘液除去用ドライスワブ(2本あるうちの太いほう)で子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分拭き取ります。(粘液を拭いたスワブは廃棄します)
- ③もう一本のフロックスワブを子宮頸管内に入れ、同じ方法にそっと5回まわします。膣の粘液にふれないように注意してスワブを引き抜きます。
- ④容器のキャップを開け、採取したスワブの先端の綿球が溶液に漬からないように注意しながら入れ、スワブの柄の黒い線を容器のふちに合わせます。
容器のふちを利用して、スワブの柄の黒い線のところで折り、容器のキャップをしっかりと閉めてください。(手元に残った折られた柄は廃棄してください。スワブを折る際は絶対にはさみを使用しないでください。)
- ⑤容器を2~8°Cで冷蔵保存してください。

2)初尿の処置方法

- ①必ず、TaqManPCR法の専用容器(容器形態:86)をご使用ください。
- ②初尿を採取してください。
 - ・検体採取の1時間前より排尿しないでください。
 - ・起床時または来院時の初尿約10mLを採尿カップに採取してください。
- ③採取した初尿を専用容器に移し(左図参照)、容器を2~8°Cで冷蔵保管してください。



3)うがい液の処置方法

- ①必ず、専用容器(容器形態:86)をご使用ください。
- ②生理食塩水(日局方など)をコップに15~20mL入れてください。
- ③生理食塩水15~20mLを口に含み、顔を上に向けて10~20秒間、勢いよく“ガラガラ”とうがいを行います。
- ④うがい液全量をうがい用コップに回収し、スポイドで専用容器に必要量添加します。
※専用容器に記載されている2つのラインの間にうがい液を入れます。
- ⑤フタをしっかりと閉め、5回転倒混和させてください。
- ⑥容器を2~8°Cで冷蔵保存してください。
※検体採取2時間前の飲食・うがい・歯磨き・ガムを噛むことなどは避けてください。
※コップ、生理食塩水および滅菌済みのスポイドは予め医療機関にてご用意ください。